



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーに輝きを

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：高橋勇雄 ■幹事：吉田和義
- 会報委員長：伊藤弘子 ■副委員長：笠 雅樹
- 委員：丹治洋子 赤間浩一 菅野清敬 菊地和宏 三瓶弘樹

## 第16回例会

平成26年10月29日(水) サンパレス福島

■会員/72名 ■出席/38名 ■出席率/52.78% ■メイクアップ/34名 ■修正/72名 ■修正率/100%

## 本日のプログラム

### 12:30 開会点鐘

- ロータリーソング(我らの生業)
- 四つのテスト
- 来訪者紹介と会長挨拶
- 米山月間スピーチ
- 猪苗代湖清掃活動報告
- スマイル報告
- 食事
- ゲストスピーカー紹介
- ゲストスピーチ
- 東京麹町ロータリークラブ
- 会長 秋山宗和 様
- 御礼の言葉

### 13:30 閉会点鐘

## 本日のソング 『我らの生業』

我らの生業 さまざまなれど  
集いて囃る心は一つ  
求むるところは 平和親睦  
力むるところは向上奉仕  
おおロータリアン  
我等の集い



## ◆会長あいさつ◆



### 高橋 勇雄 会長

皆さん今日は、本日のお客様といたしまして東京麹町 RC 会長秋山宗和様、同じく東京麹町 RC 幹事の佐藤茂様に起こしいただいております。ようこそお出で下さいました。秋山会長には、本日ゲストスピーカーとして、お越しいただいております。職業奉仕月間としてお願いしましたところ、なぜか演題は「金は汚く稼いで綺麗につかうものか」と言うタイトルです。後ほど、たっぷりお聞かせ頂きたい、楽しみにしています。

さて、先週18日の土曜日は「猪苗代、浄化作業に初めてとなる IAC20 名との合同奉仕を行いました。後ほど社会奉仕委員会植木副委員長より報告を頂きますので、よろしくお願い致します。

また、2日後の月曜日には「東京麹町・福島南、姉妹クラブ締結3周年記念式典」に19名参加のもと、ホテル・ニューオータニで執り行われました。式典では、秋山会長の閉会点鐘に始まり、お互いの会長挨拶ゲスト紹介と続き、第一部を終了し、続いての基調講演には著書300冊、年間講演160回、テレビ等でおなじみの、加来耕三氏から「歴史に学び未来を読む」の講演を頂きました。歴史認識の違いを含め、興味深い話の連続に、驚かされたひと時でした。その後、祝宴となり、お互いが各テーブル毎に歓談、和やかなうちに時間も過ぎ、手に手つないでクライマックスに閉会となりました。

大震災から3年半、麹町 RC の皆様からは温かいご支援、ご協力に言葉では言い表せないほどのお世話になり感謝に堪えません。お互いの交流も深まり、顔なじみから気心も知れる間柄となり、8月に若林様、そして今回秋山会長、11月には辻島様と大いに甘えさせて頂いており、わがままなお願いに感謝いたしております。この関係が絶えることなく永く続く事を祈り、3周年記念式典の報告と致します。

さて今月は米山月間でもあります、米山奨学事業

は、日本に初めて RC を設立された東京 RC 初代会長、米山梅吉氏の功績を記念して造られたのが米山記念奨学会です。後ほど、米山月間にちなみ菅野米山奨学会委員長よりスピーチが有りますので、宜しくお願い致します。お知らせですが、私ども大橋ガバナ一年度で講演を頂いた、板橋敏雄様が、米山記念奨学会の理事長を退任されました。なお後任には、小沢和彦様が理事長に就任された事をお知らせ致します。以上で本日の会長挨拶と致します。

## ◆米山月間スピーチ◆



### 菅野 良二 委員長

米山記念奨学会は、研究のため来日し、大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理念とする国際理解と親善に寄与することを目的とします。米山記念奨学事業とは、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け端」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。なぜ、外国人留学生支援なのか?との質問ですが、日本のロータリーの創始者、米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたいとのことで1956年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さない、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリーアンたちの強い願いがあったからです。

年間の奨学生採用数は約700人、事業費は12.4億円の支援と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに支援した奨学生数は累計で18,104人。その出身国は、世界123の国と地域に及びます。福島南ロータリークラブとしても寄付金年間目標額、地区最高額の達成継続として行きたいと思っております。皆様よろしくお願い申し上げます。

## ◆猪苗代湖清掃活動報告◆



### 植木 洋司 副委員長

10月18日に行われました猪苗代湖水草除去報告を行いました。10:00~11:30までの1時間半、成蹊高校の IAC から20名、福島南 RC からは27名が参加し、猪苗代湖にて天候も穏やかな中大変楽しい雰囲気の中、水草除去作業を行ってまいりました。水草は元々水を綺麗にする役割がありますが、成長が終わり、浜に打ち

上げられた水草はそのまま腐敗し、逆に水を汚してしまうため、水草除去作業を行うそうです。集めた水草は処理を行い、肥料として再利用することでした。作業終了後はリステル猪苗代にて会食を行い、土湯峠を超えて福島へ戻り、活動終了となりました。

## ◆ゲストスピーチ◆



### 東京麹町 RC

### 秋山 宗和 会長

皆さんこんにちは。東京麹町 RC より参りました秋山宗和と申します。本日は職業奉仕に関するスピーチと言う事で、スピーチをさせて頂きます。私が大学生の時期はちょうど大学紛争が起こっていた時期でして、将来の事を色々と考え大学を中退し、栃木県益子町に行きまして、人間国宝になられた濱田庄司先生の元に弟子入りし、1年半程陶芸の修行をしておりました。その後元々実家で祖母の代からやっていたお茶の道へ進む事になりまして、京都にて3年間修行し、現在に至ります。茶道と言うのは、他の能や歌舞伎のような伝統芸能とは違い、芸をしてお金を頂くものではありません。その為プロとアマチュアに歴然とした差はありません。しかし、我々は教えるプロとしてお茶を教えています。現在の社会において、企業に求められる社会的責任として CSR と呼ばれる概念があります。CSR という概念はロータリーにおける職業奉仕の考えと一致するところであるといえます。お金は汚く稼いで綺麗に使うものという言葉があり、初めにこれを言い出したかは定かではありません。近江商人が残した言葉に「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしという言葉のとおり、売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるということのように、企業の社会的責任を果たす事が職業奉仕であり、お金を稼ぐということも、この三方が揃って初めて成り立つものであるということです。職業奉仕において、ロータリーを実践するということは、CSR を実践するということです。ご静聴有難うございました。

## 今月・来月のプログラム

- 11月5日(水) 誕生日祝い、ロータリーの友読みどころ、ロータリー財団月間スピーチ
- 11月12日(水) ガバナー公式訪問(クラブ協議会) ガバナー補佐同行
- 11月19日(水) ゲストスピーチ(東京麹町ポリオ撲滅卓話)、戦略委員会セミナー報告
- 11月26日(水) 職業訪問(風の谷)

## ※ ※地区情報

- 11/7 防火パレード(10:30から)
- 11/9 第17回「大声杯」リトルリーグ野球大会
- 11/16 地区戦略計画委員会セミナー(郡山)
- 11/19 IAC 例会 16:45(成蹊高校)
- 11/23 福島21RC 合同コンペ、ゴルフ部会納会